

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36618	
事業名	新製品・新技術開発支援費						
評価担当課	所属名	経)産業振興部 地域産業振興課					
	課長名	小室	担当者名	大久保、川崎	電話番号	211-2392	
施策名	主	エネルギー転換に対応した環境産業の創造					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	アクションプラン2019事業目標:新製品・新技術開発支援採択後、5年目までの売上額累計2120百万円				
		長期	市内中小ものづくり企業の製品開発力を強化し、自社製品を保有することで、発注元に左右される下請け体質からの脱却を図り、足腰の強い企業を育成する。				
	取組内容	【内容】札幌市産業振興ビジョンにおいて、本市経済の成長をけん引する重点分野として掲げる「食」「環境(エネルギー)」「健康福祉・医療」「IT」分野と高付加価値型産業である「製造」分野を対象に①中小企業が行う新規性・実現可能生の高い新製品・新技術開発の取組②小規模企業が行う試作・試験等も含めた新製品・新技術の開発に関する幅広い取組を支援する。③中小企業が行うデザイン思考を取り入れた製品開発を支援する。 【実施主体】①ノーステック財団②③さっぽろ産業振興財団					
	実施結果	・ものづくり開発推進事業:応募件数12件のうち6件(うち介護ロボット関連2件)に補助 ・環境(エネルギー)技術・製品開発支援事業:応募件数4件のうち2件に補助 ・小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業:応募件数19件のうち12件に補助 ・プロダクトデザイナー派遣事業:応募件数4件のうち2件採択					
事業実施における工夫点	補助事業の取組をまとめた成果事例集を制作し、市内製造業約2,000社や関係機関に送付し、事業内容を広く周知している。						
対象者	連携中枢都市圏内中小企業でものづくりを行う企業			開始	平成23年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	他の政令指定都市で類似の事業を実施しているのは仙台市・さいたま市・静岡市・堺市・熊本市の5市。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	84,802	92,000	74,122	83,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	92,002	99,200	81,322	90,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	・ものづくり開発推進事業:30,880千円 ・環境(エネルギー)技術・製品開発支援事業:13,932千円 ・小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業:23,783千円 ・プロダクトデザイナー派遣事業:4,952千円 ・事務費:575千円			
	令和4年度予算	・ものづくり開発推進事業:31,720千円 ・環境(エネルギー)技術・製品開発支援事業:19,550千円 ・小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業:25,500千円 ・プロダクトデザイナー派遣事業:5,400千円 ・事務費:830千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	新製品・新技術の補助採択件数(ものづくり補助・小規模補助)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	15	16	18	16	
活動指標2	指標名	新製品・新技術の補助採択件数(環境・エネルギー)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5	4	2	2	
成果指標1	指標名	事業化件数(3補助事業累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	32	37	45	50	
成果指標2	指標名	事業化製品の売上金額(3補助事業累計)(百万円)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	1,935	1,978	2,839	3,146	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	環境・エネルギーの開発について、目標値を下回ったが、それ以外は、活動指標・成果指標ともに目標を達成した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	各事業において、採択率が2倍程度であり、申請者の意欲を削がず、かつ事業化可能性の高い案件が採択されており、適切な水準を保っている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業は、いずれも実績や知見のある団体が実施主体となっているため、募集、審査、採択と適切に実施されている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	各事業において、採択予定件数に対し2倍程度の申請があり、ニーズが確認できている。また、本事業で成果指標としている補助事業の売上高については、目標を上回り堅調に伸びており、企業の売上高増にもつながっているため、満足度は高いと判断する。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	事業化率の向上や早期化を図るため、申請案件の質の更なる向上に取り組む必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	無し。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新製品・新技術の開発は時間を要し、効果がすぐに見えてこない面があるものの、事業化件数及び事業化製品の売り上げは着実に増えており、本市経済を牽引する中小企業の振興に寄与していると判断する。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き、中小ものづくり企業の新製品・新技術の開発を支援し、企業の体質改善や競争力強化に努める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 中小ものづくり企業の新製品・新技術の開発を支援を継続するため、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0